

2025年度

名古屋市立大学

進化型実務家教員養成プログラム

【専門コース(まちづくり)】

案内

プログラム設置研究科 ＜キャンパス＞	担当窓口
人間文化研究科 ＜滝子キャンパス＞	教務企画室 TEEP 事務局（滝子キャンパス内） Mail : teep_office@sec.nagoya-cu.ac.jp Tel : 052-872-5882 ※基本としてメールにてお問い合わせください。 〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1

＜進化型実務家教員養成履修証明プログラムについて＞

「進化型実務家教員養成プログラム（TEEP: Training for Emerging Educators and Practitioners : 以下 TEEP という）」は、名古屋市立大学、岐阜薬科大学、高知県立大学、中京大学が共同で行う履修証明プログラムです。

TEEP では単に実務経験を大学等で語る人材を育成するのではなく、高度化・複雑化した社会の動向や最先端の技術等を学生等に分かり易く解説し、課題解決に取り組める教育をする役割を担う、高度専門人材を育成することを目的としています。

TEEP には「基本コース」と「専門コース」があります。「基本コース」では、進化型実務家教員になるために必要不可欠な能力の修得を目指します。「専門コース」は、各自の業種・専門性に合わせて視野を広げ、より専門性を高めることを目指します。

＜まちづくりコースについて＞

まちづくりコースでは、少子高齢化やグローバル化が進展するローカルな現場で、持続可能なまちを実現するための課題を把握し、多様な人々と連携して課題解決に取り組むためにリーダーシップを発揮できる高度専門人材を育成します。主な目的は、法学・政治学・行政学・都市社会学等のまちづくりや都市公共政策に関わる領域の専門性を高め、多角的な視座からまちづくりに取り組むために必要不可欠な能力の修得です。

1. 募集期間

名古屋市立大学科目等履修生出願要項の出願書類提出期間と同じ

2. 募集定員・出願資格

募集定員 3名

出願資格 人間文化研究科科目等履修生受入れ授業科目ごとに定められた出願資格を満たす者のうち、以下の要件のすべてを満たす者

- ① 「基本コース」を修了した者、既に「基本コース」と同等の科目を別途に履修したことを TEEP 運営委員会が認定した者
- ② 「基本コース」担当教員から当該専門コースへ推薦された者
- ③ 履修希望者が 3 名を超えた場合は、都市政策コース専任教員による書類審査で選抜された者

3. 出願方法

出願 名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 前期開講科目、後期開講科目 同時に科目等履修生へ出願する。

基本コース修了後、翌年度以降に出願する。

(入学検定料 9,800 円)

選考 書類選考

※出願方法については、科目等履修生出願要項参照。

4. 受講科目

● 必須科目

科目名 担当教員	実施 方法	開講年度		概要
		2025	2026	
都市政策基礎 伊藤恭彦 他	対面	前期 ／夜	前期／ 夜	多様な専門性をもつ複数の教員によるオムニバス形式の講義で、多角的に都市政策を分析する基礎的能力を修得する。また、社会諸科学の適切な方法で、自己の考えを表現（報告、発言、執筆など）する基礎的能力を修得する。
TEEP 専門 コースまちづ くりコース 多職種連携 PBL 演習 三浦哲司 他 (予定)	対面 とオ ンラ イン	8 月中 旬から 下旬の 予定	未定	高校生が参加する教育プログラムを、主担当教員とともに進める。同時に、PBL 演習としての設計とプロセスデザインを学ぶ。 ※詳細は追ってお知らせする。

● 選択科目

科目名 担当教員	実施 方法	開講年度		概要
		2025	2026	
都市と社会福祉 A 松村智史	オンライン	前期 /昼	－	都市に暮らす多様な「人」に着目し、都市と社会福祉のあり方について考え、他者との議論・ディスカッションを通して、理解を深め、基礎的な知識や経験をもとに、自分の考えを述べられる力を修得する。
都市と社会福祉 B 松村智史	オンライン	－	前期 /昼	子ども・子育てに関する社会福祉をはじめとした関する制度・政策について、その立案・立法過程、実施過程、評価等の一連のプロセスについて、具体的なケースの検討を行い、政策についての基礎的な力を修得する。
都市社会学研究 A 林浩一郎	対面	後期 土曜 3. 4	－	高度成長期のケインズ主義的な「均等発展」という国土開発の建前から、「選択と集中」を志向する新自由主義的な「都市再生」政策へという潮流のなかで、名古屋もまた大きな変化を迎えています。大都市の再編を総合的に説明する枠組みとしての「新自由主義化する都市」論を中心に検討する。
都市社会学研究 B 林浩一郎	対面	－	後期 土曜 3. 4	都市社会を規定する政治・経済構造の変動を踏まえつつ、都市社会学研究がいかに展開されてきたのかを学ぶ。それらの系譜を踏まえ、現実の名古屋の都市社会の変動を分析する。
現代政治学研究 A 伊藤恭彦	対面	後期 ／昼	－	都市公共政策を規範理論の観点から検討し、都市政策の分析手法の習得を目指す。近年は租税政策を中心に分析を行っている。
現代政治学研究 B 伊藤恭彦	対面	－	前期 ／夜	都市公共政策、まちづくりを科学的に把握するために都市政治学、都市政治経済学、都市社会学の代表的な理論を学ぶ。都市やまちづくりについての基本的な理論枠組みの習得をめざす。
現代地方自治研究 A 三浦哲司	対面	前期 土曜 1. 2	－	わが国の地方自治について、特に都市内分権や地域自治に焦点を当て、最新動向を扱いながら、報告と討論を通じて、自分の意見を述べることができる力を修得する。
現代地方自治研究 B 三浦哲司	対面	－	後期 土曜 1. 2	わが国の地方自治について、特にまちづくりや地域政策に焦点を当て、最新動向を扱いながら、報告と討論を通じて、自分の意見を述べることができる力を修得する。

私法学研究 B 渡部朗子	対面	後期	—	まちづくりに関する法（建築基準法、都市計画法等）と紛争（日影規制、景観をめぐる訴訟等）を学ぶことをとおして、民法を中心とした私法分野の理解を深める。あわせて論理的に自分の考えを表現する力を習得する。
公法学研究 A （現代社会と 憲法判例） 杉山有紗	対面	後期	—	現代社会に潜む公法に関連する問題を検討するために、関連する憲法判例を取り上げ、判例法理や政治的対応策について、具体的に分析する。本講座では、国内の判例だけでなく、国連など他国の判例を分析することもある。

※開講科目・時間等は、変更する場合があります。

5. 受講に関する留意事項

- 各科目の評価は科目担当教員が行います。
- 選択科目のシラバス（講義概要）および授業時間割は、名古屋市立大学公式 HP のシラバス公開システム（外部公開用）にて一部確認ができます。（掲載されていないものについては、TEEP 事務局へお尋ねください）
- 講義（オンライン型、対面型問わず）では資料の配布、課題提出などを web 上で実施する場合があります。パソコンと通信環境をあらかじめご準備ください。
- 新型コロナウイルス流行状況によっては、授業実施方法を変更することがあります。

6. 修了要件

次の①～③をすべて満たすこと。

- ① 所定の 3 科目の単位を修得すること。
- ② 多職種連携 PBL 演習 1 科目を履修したことを証明されること。
- ③ 実務領域診断カルテを用いた学習成果の評価で、教育専門能力が身に付いたと判定されること。

7. 受講料

142,600 円（名古屋市住民等以外の場合は 152,600 円）

※入学料、学生教育研究災害傷害保険料、科目等履修生としての授業料および PBL 演習の受講料を含みます。

※別途、PBL 演習の実習費がかかる場合があります。

8. その他

本プログラムの修了が認められたものには、進化型実務家教員養成プログラム専門コース（まちづくり）の履修証明書を発行します。

以上